

学校法人信愛学園事業報告書（令和元年度）

1 理事長挨拶

高校入学者の確保が年々難しくなる昨今、地域及び同窓生からの要望もありまた本校としても生徒数確保を前提に中学校を設置し、中高一貫教育をめざして14年が経過し、入学者が安定して確保できるよう、教職員一同一丸となり、邁進したいと考えます。

昨今の暑さ対策として、本館3階2教室、本館4階4教室の個別エアコンを新設した。教職員用ノートパソコン70台を教職員に貸与した。

本館・北館全域に無線LAN環境を整備した。

2 法人の概要

・建学の精神

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、古今東西の哲学、宗教、道徳教育の根本原理である信と愛との真理に基き、生徒に学問と芸術を修得させる私立学校を設置することを目的とする。

・学校法人の沿革

(1) 財団法人信愛女子商業学校設立認可申請		昭和18年10月30日
〃	認可	昭和19年3月3日
設立代表者 理事長 中村春治郎		
(2) 学校法人信愛学園設立認可申請		昭和25年6月10日
〃	認可	昭和25年12月7日
設立代表者 理事長 中村春治郎		
(3) 信愛高等学校設置	申請	昭和23年3月4日
〃	認可	昭和23年4月1日
(4) 信愛中学校設置	申請	昭和22年4月25日
〃	認可	昭和22年6月26日
(5) 信愛学園中学校廃止	申請	昭和45年5月28日
〃	認可	昭和45年7月1日
(6) 浜松学芸高等学校名称変更	申請	平成7年5月25日
〃	認可	平成7年5月31日
(7) 浜松学芸高等学校芸術科設置	申請	平成16年5月31日
〃	認可	平成16年8月9日
(8) 浜松学芸中学校設置	申請	平成20年1月31日
〃	認可	平成20年3月24日

明治35年10月30日	浜松市利町に開校	校名 私立浜松裁縫女学校	設立者中村みつ
明治40年11月1日	浜松市常盤町に新築移転		
大正11年4月1日	校名 浜松高等裁縫女学校と改める		
昭和2年11月1日	浜松市下池川町に新築移転		
4年2月5日	校名 浜松高等家政女学校と改める		
16年3月31日	校名 浜松信愛女学校と改める		
16年10月28日	講堂を新築		
17年5月13日	校長中村みつ逝去、中村春治郎理事長兼校長となる		
19年3月3日	財団法人信愛女子商業学校となる		
19年3月3日	校名 信愛女子商業学校と改める		
20年7月29日	艦砲射撃を受け校舎大破		
21年3月3日	校名 信愛高等女学校と改める		
昭和22年6月26日	信愛中学校を設置する		
23年4月1日	高等学校令により信愛高等学校を設置するとともに附設中学校		

	と改める
25年 12月 7日	財団法人信愛女子商業学校を学校法人信愛学園に改める
26年 1月 3日	袴田ぎん氏寄贈による信明荘(147㎡)を新築
27年 8月 1日	図書館(205㎡)を新築
29年 4月 1日	商業科を新設
29年 9月 10日	商業館(384㎡)を移転改築
29年 10月 30日	創立50周年記念式を挙行
31年 9月 18日	鉄筋コンクリート3階建9教室校舎(1,052㎡)を新築
32年 7月 20日	公認50mプール(800㎡)を新築
33年 8月 14日	理事長兼校長 中村春治郎逝去 理事長 中村隆 校長 中村春子となる
33年 10月 30日	鉄筋校舎(593㎡)を増築
34年 9月 10日	特別教室2号館(912㎡)を移転増改築
昭和 34年 10月 5日	講堂(535㎡)を移転増改築
35年 8月 10日	特別教室1号館(589㎡)を移転増改築
36年 4月 1日	商業科、家庭科を改め普通科とし、A、B、Cの3コース制をとる
36年 6月 25日	校地(1,205㎡)を拡張する
36年 9月 6日	本館鉄筋コンクリート4階建(2,458㎡)を新築
37年 4月 1日	校名 信愛学園高等学校、信愛学園中学校と改める 高等学校定員900名 中学校450名
37年 10月 23日	創立60周年記念式を挙行
40年 4月 1日	信愛学園高等学校音楽科を設置し、音楽科棟鉄筋コンクリート3階建(1,184㎡)を新築 定員 90名
42年 12月 2日	体育館兼講堂鉄筋鉄骨造(2746㎡)を新築
45年 7月 1日	信愛学園中学校を廃止する 高等学校定員 普通科 1,350名 音楽科90名
47年 10月 19日	創立70周年記念式を挙行
47年 11月 10日	音楽館、家庭館を解体し本館に接続、東館(1,987㎡)を新築
51年 3月 31日	校長 中村春子退任
51年 4月 1日	校長 服部頼明就任
57年 3月 31日	木造特別教室1号館・2号館・3号館(延1,898.84㎡)を解体し、鉄筋コンクリート4階建特別教室北館(2,387㎡)を防音新築(横浜防衛施設局補助工事)
58年 3月 31日	木造講堂(470.37㎡)を解体し、鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建 一部3階建中村記念館(大ホール、生徒ホール、渡り廊下1,983㎡)を防音新築(横浜防衛施設局補助工事)
59年 1月 31日	鉄筋コンクリート4階建特別館(1,268㎡)を新築
61年 3月 31日	本館、西館、信明荘を解体し鉄筋コンクリート5階建本館(5,608㎡)を防音新築 (横浜防衛施設局補助工事)
61年 12月 20日	東館防音改造工事完了(横浜防衛施設局補助工事)
62年 1月 10日	正門新設、前庭工事完了
62年 4月 1日	普通科に電子オルガンコースを新設
62年 10月 30日	創立85周年記念式を挙行
63年 9月 30日	鉄筋コンクリート3階建レッスン室棟(281㎡)を新築する(横浜防衛施設局補助工事)
63年 12月 27日	音楽科防音改造工事完了(横浜防衛施設局補助工事)
平成 元年 4月 1日	普通科に特進コースを新設し、進学、普通の3コース制となる
元年 7月 25日	北館改修工事完了

平成2年 4月 1日	普通科に美術造形コースを新設する。また新設を記念して渡辺弘二氏デザインによる制服を制定
2年 10月 27日	音楽科25周年記念演奏会開催
4年 10月 30日	創立90周年を迎える
5年 4月 1日	電子オルガン・美術造形コースを改め、電子音楽科・美術造形科を設置
5年 8月 30日	第2グラント整備事業完了
6年 8月 31日	校舎西側土留め工事完了
7年 3月 1日	信明寮完成引渡し(873㎡)
7年 3月 1日	テニスコート南側グラント用地として借用(316㎡)
8年 3月 31日	理事長 中村隆退任 校長 服部穎明辞任
8年 4月 1日	学園長 中村隆就任 理事長 服部穎明就任 校長 中村誠就任
8年 4月 1日	校名を浜松学芸高等学校と改め普通科に吹奏楽コース・特進Cコースを新設
9年 8月 31日	音楽科棟耐震補強工事完了
10年 3月 1日	私学としては全国で唯一、教育多様化実践研究校として文部省の指定を受ける
10年 4月 1日	普通科特進Bコースを、特進準Cコースと改める
13年 4月 1日	普通科特進準Cコースを廃止し、特進Cコースに一本化する
13年 11月 12日	学園長 中村隆逝去
14年 4月 1日	3学期制から前期、後期の2学期制に変更
14年 4月 1日	普通科に書道コースを新設
14年 4月 1日	普通科の特進Aコース、普通コースを廃止し、進学／教養コースを新設
14年 10月 29日	創立100周年記念式典を挙行
14年 12月 30日	本館防音冷暖房復旧工事完了(横浜防衛施設局補助工事)
15年 4月 1日	進学／教養コースを進学コースと改める
16年 3月 31日	東館防音冷暖房復旧工事完了
16年 4月 27日	テニスコート借用(浜松市住吉)
16年 4月 1日	普通科の吹奏楽コースを、電子音楽科に、普通科の書道コースを、美術造形科に統合
16年 8月 9日	音楽科・電子音楽科・美術造形科を統合し、芸術科にする認可書受領
16年 8月 31日	静岡県私立学校教育環境整備充実事業工事完了(講堂防水工事、本館女子トイレ・音楽館トイレ改修、本館廊下床・教室改修工事)
16年 8月 31日	東館耐震補強改修工事完了
17年 3月 31日	音楽館防音冷暖房復旧工事完了(横浜防衛施設局補助工事)
18年 9月 30日	北館耐震補強工事完了
18年 3月 31日	理事長 服部穎明退任
18年 4月 1日	理事長 服部泰啓就任
19年 3月 22日	浜松学芸中学校設置計画が私学振興室より事前承認
19年 12月 20日	北館質的改善(冷暖房設置)工事完了(横浜防衛施設局補助工事)
20年 3月 22日	屋内運動場(体育館 2,466)を改築
20年 3月 24日	浜松学芸中学校設置認可を受ける 学則定員 高等学校(普通科 256名 芸術科 70名) 中学校 80名
20年 4月 1日	浜松学芸中学校開校

20年11月28日 中村記念館(講堂)質的改善(冷暖房設置)工事(横浜防衛施設局補助工事)

21年 3月31日 校長 中村誠辞任

21年 4月 1日 校長 大塚功就任

21年 7月31日 テニスコート取得(4002.31㎡ 中区住吉5-312-1他4筆)

22年 2月30日 信明寮契約満了により返還(873㎡)

24年 4月 1日 中村社団より音楽館北土地借用(438.87㎡)

25年 3月22日 ヤマハ(株)より隣接地取得(10,745.08㎡)

26年10月30日 音楽課程創立50周年記念式典挙行

27年 4月30日 ゴルフ練習場工事完了

28年 3月31日 校長 大塚功辞任

28年 4月 1日 校長 内藤純一就任

29年 8月 1日 北館トイレ改修

29年 9月 3日 本館トイレ洋式化に改修

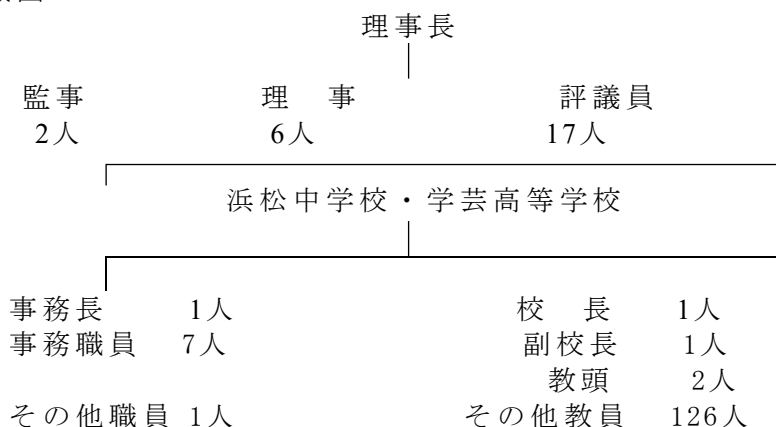
令和元年 5月30日 本館3・4階教室(6クラス)個別エアコン設置

元年 9月14日 芸術科 美術課程設立30周年記念式典を挙行

元年 9月27日 本館・北館全域に無線LAN環境整備及び教職員にノートパソコン貸与

2年 4月 1日 普通科に地域創造コースを新設し、併せて芸術科の課程を3コース(音楽・美術・書道)に改組する

・組織図



・設置する学校・学科等

浜松学芸高等学校 浜松学芸中学校
 普通科(特進)
 芸術科(音楽・電子音楽・美術・書道課程)

・学則定員(令和2年度)

計 1218人

高等学校

	1年	2年	3年	計
普通科	256	256	256	768
芸術科	70	70	70	210
計	326	326	326	978

中学校

	80	80	80	240
--	----	----	----	-----

- ・生徒数の状況（令和元年5月1日） 計 1004人

高等学校

	1年	2年	3年	合計
普通科	237	208	240	685
芸術科	60	57	57	174
計	297	311	348	859

中学校

総合計

	48	46	51	145
	345	311	348	1004

- ・役員・教職員の概要

役員 理事 7人

監事 2人

評議員 17人

教職員

	高等学校	中学校	計
専任教員	57	12	69
非常勤教員	58		58
専任事務職員	5		5
非常勤事務職員	2		2
その他非常勤職員	2		2
計	124	12	136

3 事業の概要

- ・当該年度の事業の概要

- ・本館3階、4階（6教室）個別エアコンを設置
- ・本館・北館全域に無線LAN環境整備及び本館教室にプロジェクター設置
- ・全教職員にノートパソコン貸与

- ・重要な契約の締結状況

- ・新校舎建設に伴う設計契約をニキ計画工房と締結

4 財務の概要

・経年比較

事業活動収支計算書推移表 |

(単位：千円)

科目	29年度	30年度	元年度
学生生徒納付金	562,617	545,513	529,146
手数料	15,874	14,973	19,073
寄付金	0	0	0
補助金	410,435	411,585	420,561
雑収入	3,791	3,491	17,324
教育活動収入計	997,717	975,562	986,844
人件費	730,410	720,480	716,515
教育研究経費	216,840	213,773	197,189
管理経費	26,117	26,173	25,225
徴収不能額等	333	444	111
教育活動支出計	973,700	960,871	939,040
教育活動収支差額	19,017	14,692	47,804
受取利息	5,524	2,637	2,357
教育活動外収入計	5,524	2,637	2,357
借入金等利息	2,935	1,837	945
教育活動外支出計	2,935	1,837	945
教育活動外収支差額	2,589	800	1,412
資産売却差額	23,202	917	16,382
その他の特別収入	1,248	611	41
特別収入計	24,450	1,528	16,423
資産処分差額	477	500	12,592
特別支出計	477	500	12,592
特別収支差額	23,972	1,028	3,831
基本金組入前当年度収支差額	45,578	16,520	53,047
基本金組入額合計	-65,213	-186,711	-54,059
当年度収支差額	-19,635	-170,191	-1,012
前年度繰越収支差額	-867,638	-887,273	-1,057,464
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	-887,273	-1,057,464	-1,058,476

貸借対照表推移表

科目	29年度	30年度	元年度
固定資産	3,195,319	3,077,885	3,115,868
流動資産	226,029	167,715	153,087
資産の部合計	3,421,348	3,245,600	3,268,955
固定負債	406,328	261,369	240,536
流動負債	180,921	133,613	124,754
負債の部合計	587,249	394,982	365,290
第1号基本金	3,536,617	3,703,327	3,962,142
第2号基本金	120,000	140,000	160,000
第4号基本金	64,755	64,755	64,755
基本金の部合計	3,721,372	3,908,082	4,186,897
翌年度繰越消費支出超過額	-887,2763	-1,057,464	-1,058,464
負債、基本金の部及び消費収支差額の部合計	3,421,348	3,245,600	3,128,420

事業活動収支財務分析

科目	29年度	30年度	元年度
人件費比率	73.20	73.85	72.60
人件費依存率	129.82	132.07	135.40
教育研究経費比率	21.73	21.91	19.98
管理経費比率	2.61	2.68	2.55
借入金等利息比率	0.29	0.19	0.09
教育活動支出比率	97.59	98.49	95.15
学生生徒納付金比率	56.39	55.91	53.62

貸借対照表財務分析

科目	29年度	30年度	元年度
固定比率	112.74	140.66	99.59
固定長期適合率	98.60	125.65	92.49
流動比率	124.93	125.52	122.71
総負債比率	17.16	15.29	10.45
負債比率	20.97	18.05	11.67
繰越収支差額構成比率	-25.93	-40.93	-30.29

5 その他

・学校法人の当面の課題

施設面においては、第3グラントの活用をはかっていく。

生徒募集面においては、中学及び普通科・芸術科共に衆知を集めて定員確保を図る。

そして教育面においては、併設中学より高校へ入学した生徒のフォローをし普通科・芸術科共にさらに進学実績を向上させる。特に、普通科においては東大への複数連続合格、芸術科においては芸大等へできるだけ多くの合格者を出したい。

事業活動収支財務分析

科目	計算式
人件費比率	人件費 / 教育活動収入
人件費依存率	人件費 / 学生生徒納付金
教育研究経費比率	教育研究経費 / 教育活動収入
管理経費比率	管理経費 / 教育活動収入
借入金等利息比率	借入金等利息 / 教育活動収入
教育活動支出比率	教育活動支出 / 教育活動収入
学生生徒納付金比率	学生生徒納付金 / 教育活動収入

貸借対照表財務分析

科目	計算式
固定比率	固定資産 / 自己資金
固定長期適合率	固定資産 / (自己資金 + 固定負債)
流動比率	流動資産 / 流動負債
総負債比率	(固定負債 + 流動負債) / 総資金
負債比率	(固定負債 + 流動負債) / 自己資金
繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 / 総資金

自己資金 = 基本金 + 繰越収支差額

総資金 = 自己資金 + 他人資金 (負債)